



動作解析や筋活動の分析を用いて、人の動きのメカニズムを解明する研究をとおして、人々の健康づくりに貢献したいと考えています。

略歴

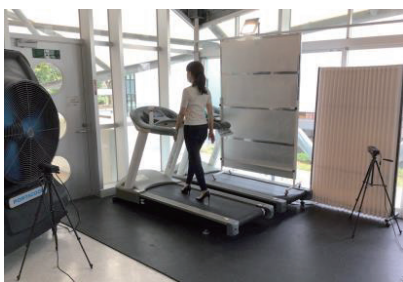
博士（学術）。お茶の水女子大学特別研究員を経て、2019年に日本工業大学共通教育学群に講師として着任。現在は、印象評価と動作解析を用いて、魅力的な動きの解明に関する研究に従事。

所属学会など

日本体育・スポーツ・健康学会
日本体力医学会
日本ダンス医科学会
日本バイオメカニズム学会

研究紹介

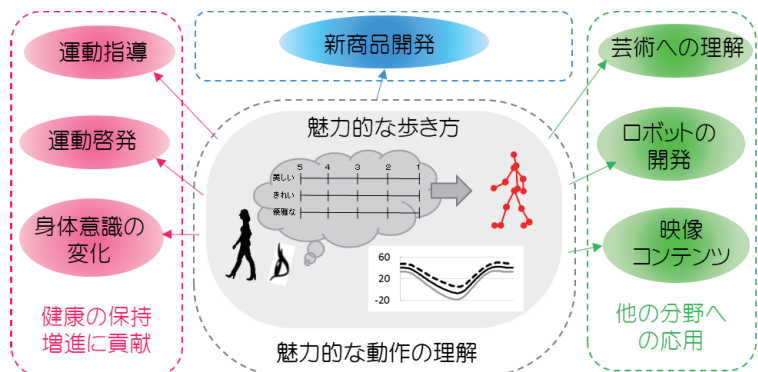
魅力的な歩き方に関する研究



ヒトは、相手のすがた・かたちだけでなく、しぐさや立ち居振る舞いを行った動きをも利用してその印象を形成し、円滑なコミュニケーションに役立てています。

歩行は人の基本的な移動運動の1つですが、やはりその姿からも見る人は様々な印象をうけています。人のみための中でも、歩き方を変えることは、比較的低コスト・低リスクで相手に与える印象を変えることのできる有効なツールといえます。

人が歩く姿を見たときにうける印象と、歩き方の動作解析とを合わせて検証することで、ある印象を生じさせる歩き方の特徴を明らかにしています。歩き方と、魅力的な動きとは何かを解明することで、健康の保持増進に貢献できるだけでなく、人らしいロボットの開発、アニメーションなどの映像コンテンツへの利用など他の分野にも貢献できるような知見を蓄積していきたいと考えます。



主な発表論文

- 1) Sakiko Saito, Momoka Saito, Megumi Kondo, Yoshiyuki Kobayashi, Gait pattern can alter aesthetic visual impression from a third-person perspective. Scientific reports, 14, 6602, 2024
- 2) 齋藤早紀子、小林吉之、河内まき子「歩容からうける美的印象に観察者の性別が及ぼす影響」、バイオメカニズム学会誌、47(4)、228-237、2023